

別紙 2 その他資料編

1. 本市の特性に関する資料

(1) 徳島市の気象

表 1 徳島市の気象データ

(昭和 51 年から平成 22 年まで 30 年間の月別平均気温及び月別平均降水量)

月	平均降水量 (mm)	平均気温 (°C)			風向・風速 (m/s)		日照時間 (h)	雪 (cm)		
		平均	日最高	日最低	平均 風速	最多 風向		降雪の深さ		最深 積雪
								合計	日合計	
1月	38.9	6.1	9.8	2.7	3.4	西北西	157.5	30	30	30
2月	52.8	6.5	10.5	2.8	3.4	西北西	150.2	3	2	2
3月	94.5	9.6	13.8	5.6	3.3	西北西	171.2	1	1	1
4月	108.2	14.8	19.4	10.5	3.3	西北西	192.9	0	0	0
5月	148.4	19.2	23.6	15.2	3.2	南南東	196.8	--	--	--
6月	190.8	22.7	26.6	19.6	2.8	南南東	157.9	--	--	--
7月	148.8	26.6	30.3	23.6	2.8	南南東	195.2	--	--	--
8月	172.9	27.8	31.9	24.6	3.2	南南東	230.4	--	--	--
9月	210.0	24.5	28.3	21.4	2.9	西北西	159.9	--	--	--
10月	146.2	18.9	22.8	15.4	2.8	西北西	166.7	--	--	--
11月	97.2	13.5	17.5	9.8	2.9	西北西	150.8	--	--	--
12月	45.2	8.5	12.5	4.9	3.2	西北西	163.3	0	0	0

(資料参照：徳島地方気象台資料)



(資料参照：徳島地方気象台資料)

図 1 徳島市の気象データ

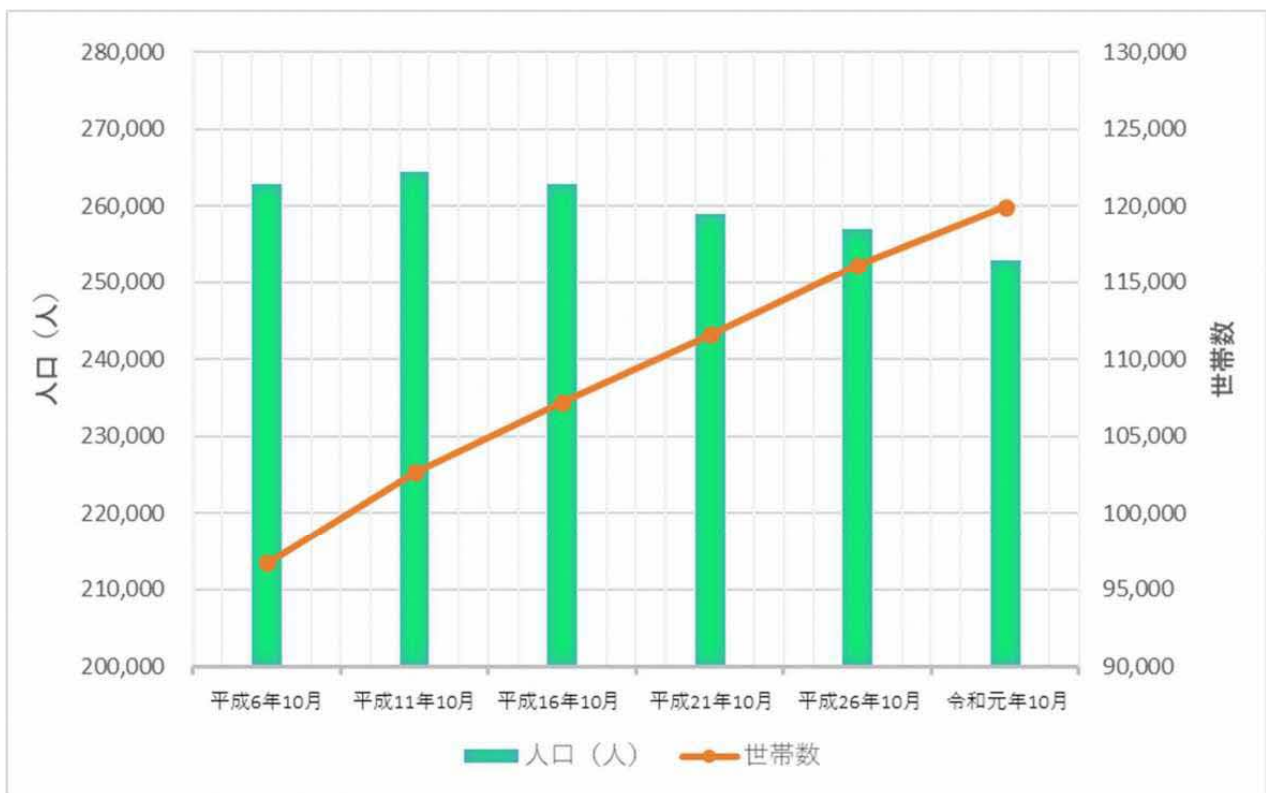
(昭和 51 年から平成 22 年まで 30 年間の月別平均気温及び月別平均降水量)

(2) 徳島市の人口

表2 人口・世帯の推移

年次	世帯数		人口(人)			
	世帯	増減数	総数	男	女	増減数
平成6年10月	96,701	-	262,821	125,546	137,275	-
平成11年10月	102,655	5,954	264,447	126,398	138,049	1,626
平成16年10月	107,203	4,548	262,837	125,320	137,517	△1,610
平成21年10月	111,577	4,374	258,884	123,041	135,843	△3,953
平成26年10月	116,143	4,566	257,067	121,908	135,159	△1,817
令和元年10月	119,927	3,784	252,984	120,080	132,904	△4,083

(資料参照：徳島市住民基本台帳)



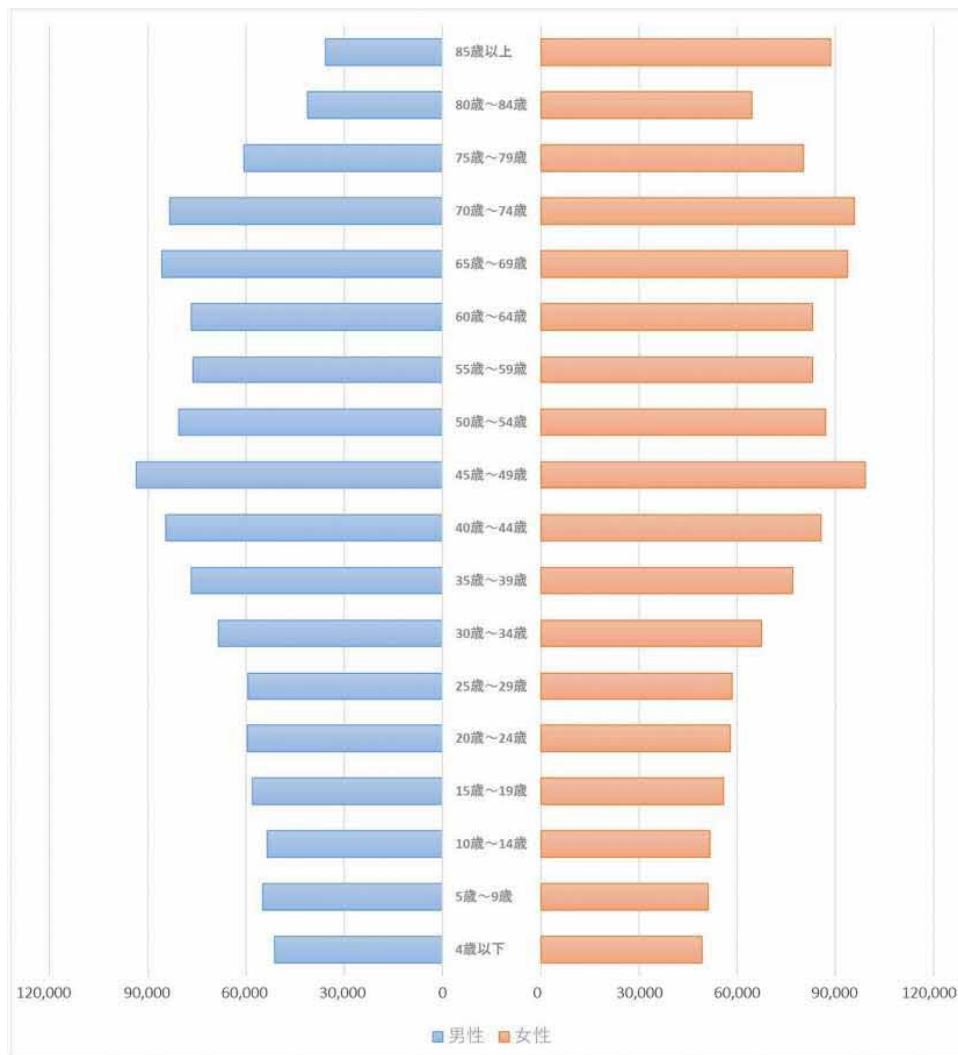
(資料参照：徳島市住民基本台帳)

図2 人口・世帯の推移

表3 人口ピラミッド（令和元年10月時点）

年齢	男性	女性
4歳以下	5,127	4,925
5歳～9歳	5,501	5,108
10歳～14歳	5,348	5,169
15歳～19歳	5,804	5,587
20歳～24歳	5,969	5,794
25歳～29歳	5,943	5,843
30歳～34歳	6,848	6,734
35歳～39歳	7,680	7,690
40歳～44歳	8,451	8,558
45歳～49歳	9,354	9,916
50歳～54歳	8,055	8,699
55歳～59歳	7,632	8,303
60歳～64歳	7,677	8,293
65歳～69歳	8,580	9,372
70歳～74歳	8,337	9,585
75歳～79歳	6,066	8,022
80歳～84歳	4,130	6,447
85歳以上	3,578	8,859

（資料参照：徳島市住民基本台帳）



（資料参照：徳島市住民基本台帳）

図3 人口ピラミッド（令和元年10月時点）

2. SDGsについて

◆SDGsの17の目標（対応目標・・・太字）

- ①あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる
- ②**飢餓を終わらせ、食料安全保障と栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する**
- ③**あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する**
- ④**すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する**
- ⑤**ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う**
- ⑥**すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する**
- ⑦**すべての人々の安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する**
- ⑧**包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用（ディーセント・ワーク）を促進する**
- ⑨**強靱（レジリエント）なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る**
- ⑩**各国内及び各国間の不平等を是正する**
- ⑪**包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する**
- ⑫**持続可能な生産消費形態を確保する**
- ⑬**気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる**
- ⑭**持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する**
- ⑮**陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の促進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する**
- ⑯**持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する**
- ⑰**持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する**



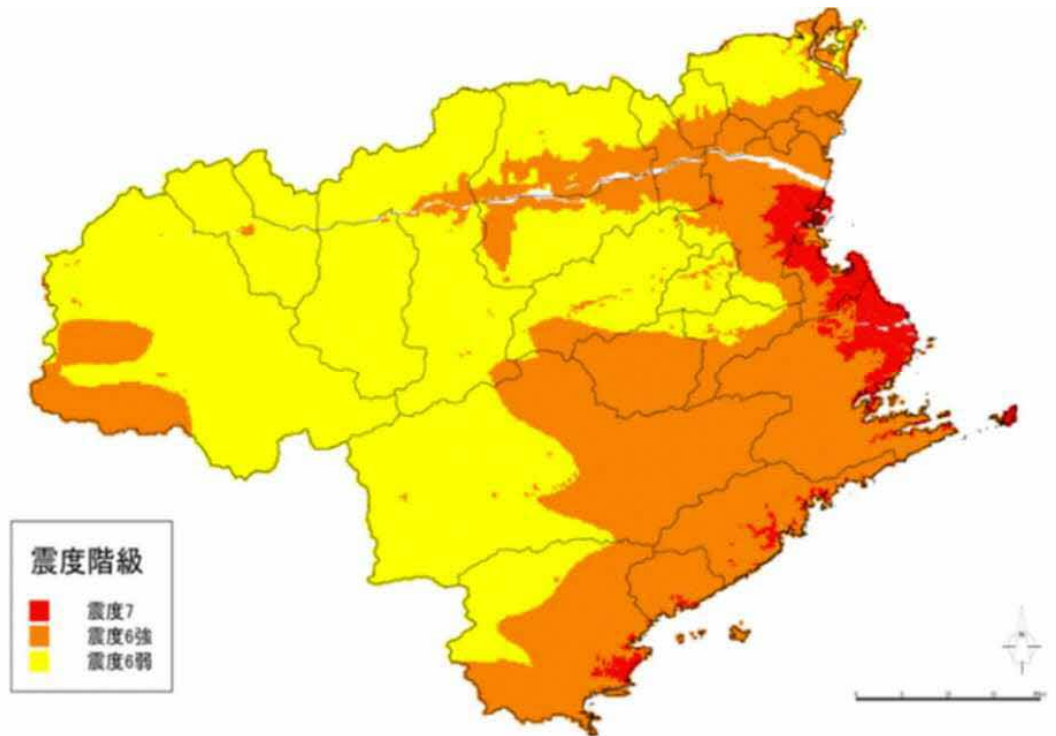
※SDGsとは

2015年9月の国連総会で、先進国と開発途上国がともに取り組むべき国際社会全体の普遍的な目標「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が全会一致で採択されました。2030年までの「持続可能な開発目標（SDGs）」として、17のゴール（目標）と169のターゲットが掲げられ、「誰一人取り残さない（leaveno one behind）」社会の実現を目指し、国連に加盟するすべての国が、あらゆる形態の貧困や飢餓の撲滅、質の高い教育の確保、気候変動やその影響の軽減などの取組むこととしています。

3. 各種被害想定について

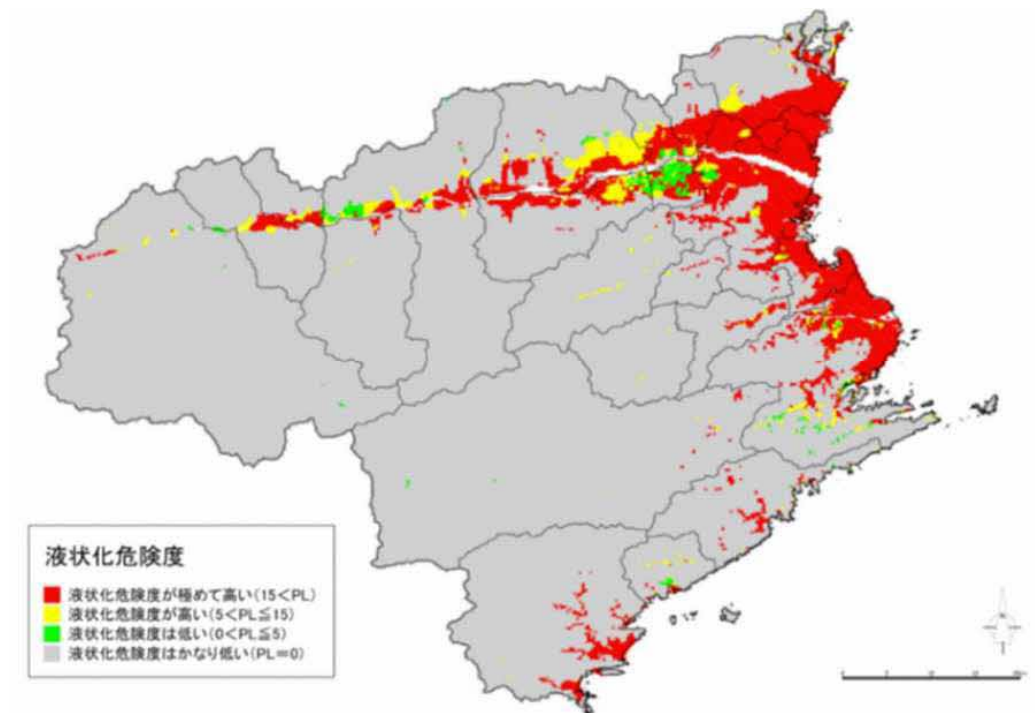
(1) 南海トラフ巨大地震

南海トラフ巨大地震について、徳島県の被害想定（第一次・第二次）等の資料を示す。



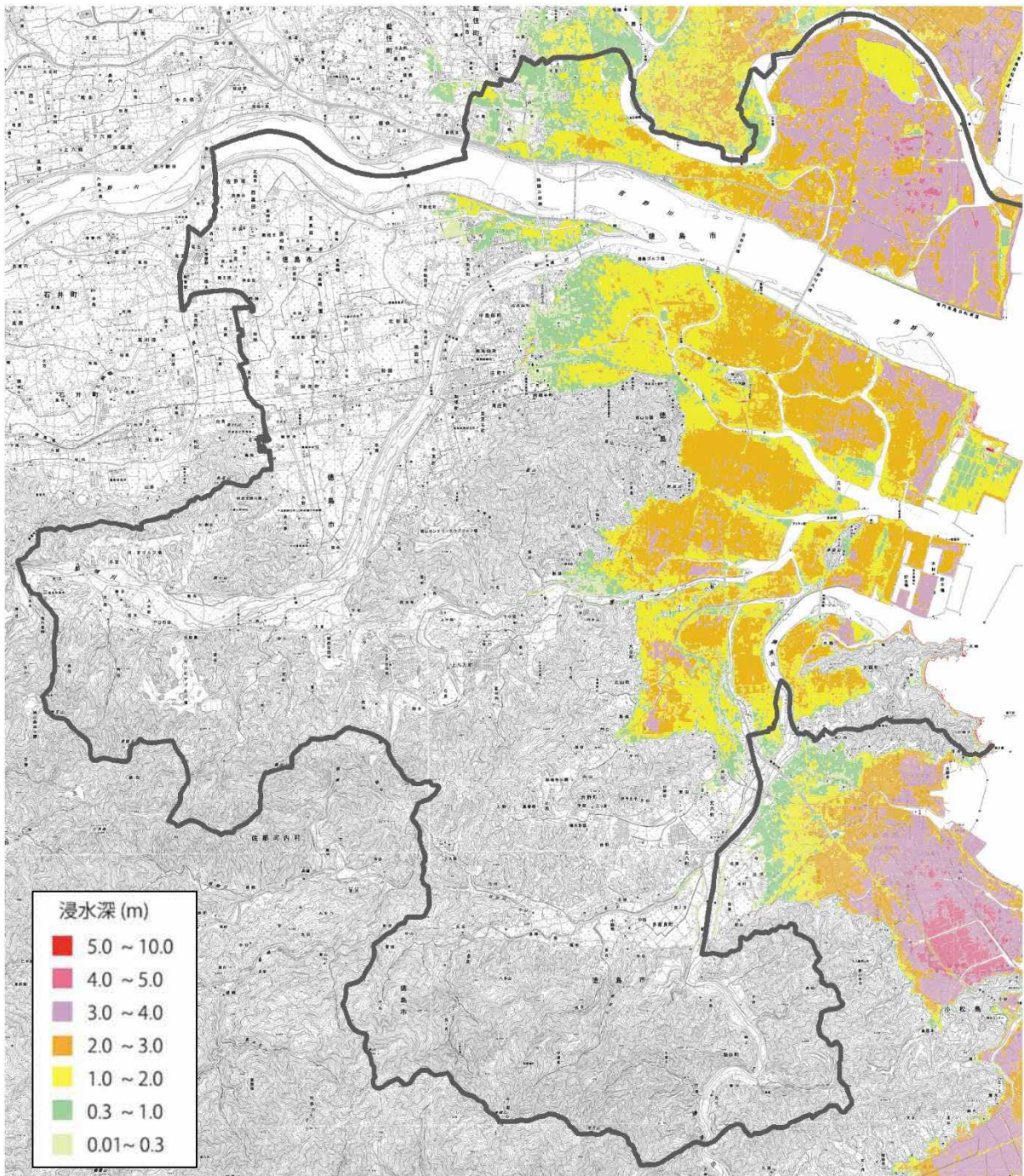
図の出典：「徳島県南海トラフ巨大地震被害想定（第一次）」（平成25年7月）

図4 南海トラフ巨大地震 被害想定 震度分布図



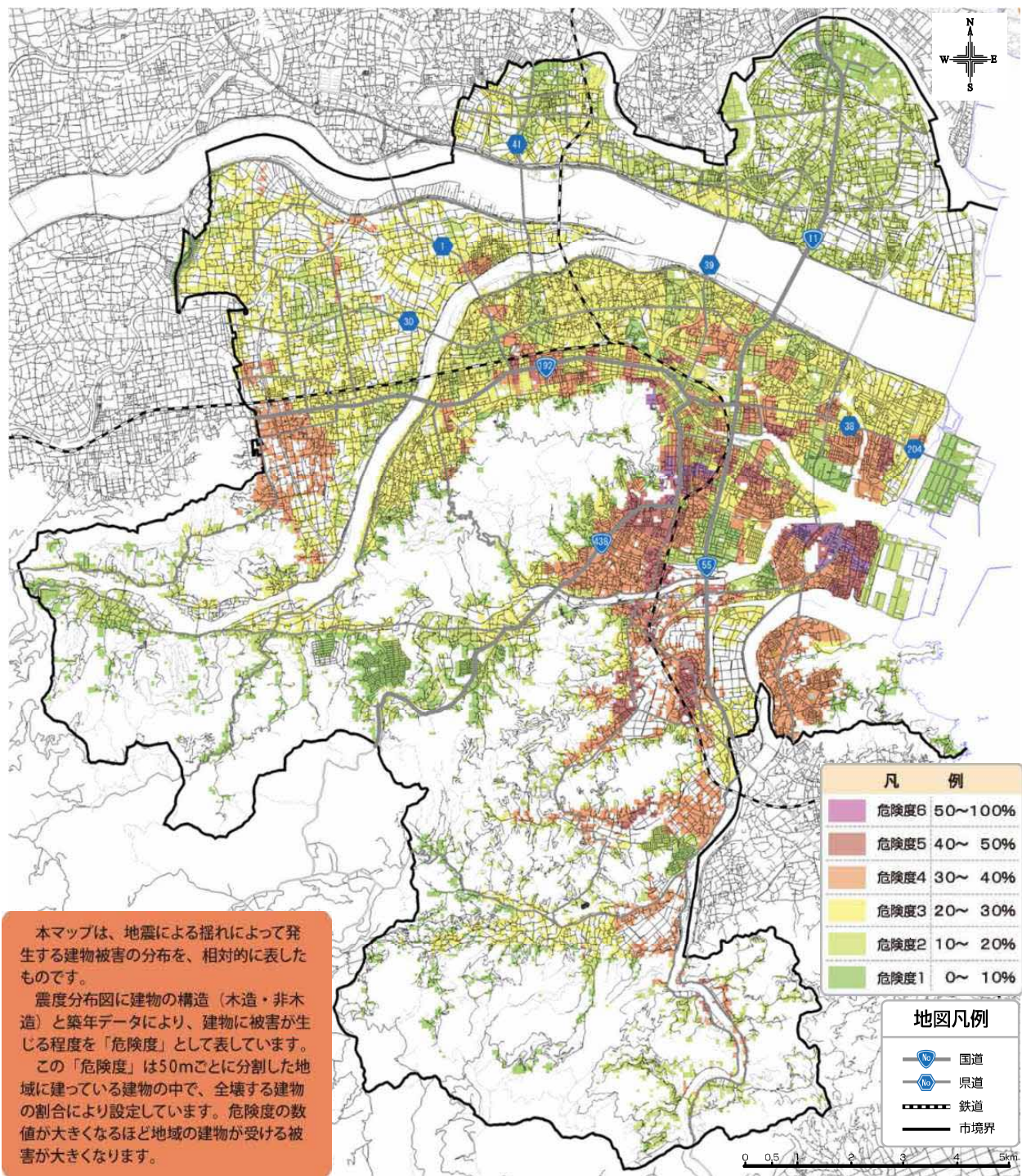
図の出典：「徳島県南海トラフ巨大地震被害想定（第一次）」（平成25年7月）

図5 南海トラフ巨大地震 被害想定 液状化危険度分布図



※この地図は、国土地理院発行の数値地図 25000 を使用したものである。

図 6 南海トラフ巨大地震津波浸水予測図（レベル 2 地震・津波）



※この地図は、国土地理院発行の数値地図 25000 を使用したものである。

図 7 揺れに対する建物倒壊危険度マップ

表4 徳島県南海トラフ巨大地震被害想定（人的・物的・ライフライン等の被害）

建物全壊・焼失棟数（棟）

揺れ	液状化	急傾斜地	津波	火災			合計		
				冬深夜	夏12時	冬18時	冬深夜	夏12時	冬18時
22,300	190	70	16,200	4,700	7,500	9,600	43,500	46,200	48,300

建物半壊棟数（棟）

揺れ	液状化	急傾斜地	津波	火災	合計
12,500	3,100	110	9,700	-	25,500

死者数一覧（人）

揺れ（うち家具転倒）			急傾斜			津波（うち自力脱出困難者）			火災		
冬深夜	夏12時	冬18時	冬深夜	夏12時	冬18時	冬深夜	夏12時	冬18時	冬深夜	夏12時	冬18時
1,400 (130)	910 (80)	1,000 (90)	※	※	※	8,600 (4,400)	7,500 (3,700)	7,100 (3,700)	410	490	780
ブロック塀・自動販売機転倒等			合計								
冬深夜	夏12時	冬18時	冬深夜	夏12時	冬18時						
0	※	※	10,400	8,900	9,000						

負傷者一覧（人）

揺れ（うち家具転倒）			急傾斜			津波			火災		
冬深夜	夏12時	冬18時	冬深夜	夏12時	冬18時	冬深夜	夏12時	冬18時	冬深夜	夏12時	冬18時
5,500 (2,200)	4,500 (1,600)	4,300 (1,600)	※	※	※	※	※	※	640	850	1,100
ブロック塀・自動販売機転倒等			合計								
冬深夜	夏12時	冬18時	冬深夜	夏12時	冬18時						
0	180	380	6,200	5,500	5,800						

重傷者一覧（人）

揺れ（うち家具転倒）			急傾斜			津波			火災		
冬深夜	夏12時	冬18時	冬深夜	夏12時	冬18時	冬深夜	夏12時	冬18時	冬深夜	夏12時	冬18時
1900 (470)	1400 (340)	1400 (340)	※	※	※	※	※	※	180	240	300
ブロック塀・自動販売機転倒等			合計								
冬深夜	夏12時	冬18時	冬深夜	夏12時	冬18時						
0	60	120	2,100	1,700	1,900						

ライフライン被害（上水道）

給水人口 （人）	復旧対象 給水人口 （人）	直後		1日後		1週間後		1ヶ月後		津波全壊 人口 （人）
		断水率 （%）	断水人口 （人）	断水率 （%）	断水人口 （人）	断水率 （%）	断水人口 （人）	断水率 （%）	断水人口 （人）	
253,400	204,700	91	229,600	68	173,100	51	128,500	23	58,900	48,600

ライフライン被害（下水道）

処理人口 （人）	復旧対象 給水人口 （人）	直後		1日後		1週間後		1ヶ月後		津波全壊 人口 （人）
		支障率 （%）	支障人口 （人）	支障率 （%）	支障人口 （人）	支障率 （%）	支障人口 （人）	支障率 （%）	支障人口 （人）	
78,000	63,100	100	78,000	100	78,000	29	22,900	0	0	15,000

注意：各表中の※は若干数を表す。

各数値は一の位又は十の位、百の位等で処理されており、合計や率が合わない場合もある。

ライフライン被害（電力）

代表震度	電灯軒数	復旧対象 電灯軒数	直 後		1日後		津波全壊 相当 電灯軒数
			停電率 (%)	停電軒数	停電率 (%)	停電軒数	
6.5	145,000	117,200	100	145,000	84	121,500	27,800

ライフライン被害（固定電話）

回線数	復旧対象 回線数	直 後		1日後		津波 全壊相当 回線数
		不通率 (%)	不通 回線数	不通率 (%)	不通 回線数	
61,800	49,900	100	61,800	87	53,700	11,900

ライフライン被害（都市ガス：冬18時）＜県合計＞

復旧対象 重要家数	直後		1日後		1週間後		1ヶ月後	
	供給停止 率 (%)	供給停止 戸数	供給停止 率 (%)	供給停止 戸数	供給停止 率 (%)	供給停止 戸数	供給停止 率 (%)	供給停止 戸数
5,400	100	5,400	100	5,400	63	3,400	0	0

交通施設被害（道路施設）

津波浸水域		津波浸水域外		総延長 (km)	被害 箇所数
延長 (km)	被害 箇所数	延長 (km)	被害 箇所数		
3,250	690	11,760	940	15,020	1,600

交通施設被害（鉄道施設）

津波浸水域		津波浸水域外		総延長 (km)	被害 箇所数
延長 (km)	被害 箇所数	延長 (km)	被害 箇所数		
57	110	172	430	229	550

交通施設被害（港湾）

岸壁			その他係留施設			防波堤 延長 (km)	防波堤 被災延長 (km)
総 バース数	耐震 バース数	被害 バース数	総 バース数	耐震 バース数	被害 バース数		
76	3	60	207	1	160	13,280	6,000

避難者数：冬18時（人）

人口	警報解除後当日			1週間後			1ヶ月後		
	避難所 生活者数	避難所外 生活者数	合計	避難所 生活者数	避難所外 生活者数	合計	避難所 生活者数	避難所外 生活者数	合計
264,548	93,300	48,600	141,900	99,300	53,600	152,800	44,100	102,900	146,900

・警報解除後当日における避難所生活者数の割合は、 $93,300 / 264,548 \times 100 \approx 35.3\%$ で、

避難所外生活者の割合は、 $48,600 / 264,548 \approx 18.3\%$ と設定される。

・帰宅困難者は15,500名～22,300名とされる。

要配慮者：冬18時（人）

避難所 生活者数 (1週間後)	避難所生活者（1週間後）のうちの要配慮者数（人）							
	65歳以上の 高齢単身者	5歳未満の 乳幼児	身体 障がい者	知的 障がい者	要介護認定者 (要支援者除く)	難病患者	妊産婦	外国人
99,300	4,100	3,800	4,000	790	3,600	700	800	430

注意：各表中の※は若干数を表す。

各数値は一の位又は十の位、百の位等で処理されており、合計や率が合わない場合もある。

医療機能（人）

重傷者数 （※注1）	死者の一副 （※注2）	要転院 患者数	合計
1,900	900	920	3,700

・「重傷者一覧」参照（冬18時）、「死者数一覧」参照（冬18時）

災害廃棄物

重量換算（万t）			体積換算（万m ³ ）		
災害廃棄物	津波堆積物	計	災害廃棄物	津波堆積物	計
442	158~336	600~778	679	144~230	823~909

エレベーター閉じ込め

エレベーター数	閉じ込め可能性のある台数			
	安全装置作動	揺れによる停電	停電	合計
1,600	※	140	300	440

文化財<県合計>

全施設数	要因別被害想定結果		
	津波浸水	揺れ	火災
17	2	9	0

住機能

徳島市 全戸数	必要応急 仮設住宅戸数
111,600	34,400

孤立集落

孤立の可能性が ある 集落数	孤立集落数		
	農村	漁村	計
2	1	0	1

注意：各表中の※は若干数を表す。

各数値は一の位又は十の位、百の位等で処理されており、合計や率が合わない場合もある。

表5 南海トラフ地震臨時情報

情報名	情報発表条件
南海トラフ地震臨時情報	<ul style="list-style-type: none"> 南海トラフ沿いで異常な現象が観測され、その現象が南海トラフ沿いの大規模な地震と関連するかどうか調査を開始した場合、または調査を継続している場合 観測された異常な現象の調査結果を発表する場合
南海トラフ地震関連解説情報	<ul style="list-style-type: none"> 観測された異常な現象の調査結果を発表した後の状況の推移等を発表する場合 「南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会」の定例会合における調査結果を発表する場合（ただし南海トラフ地震臨時情報を発表する場合を除く） <p>※すでに必要な防災対応がとられている際は、調査を開始した旨や調査結果を南海トラフ地震関連解説情報で発表する場合があります</p>

(資料参照：気象庁 南海トラフ地震に関連する情報の種類と発表条件)

キーワード	各キーワードを付記する条件
調査中	<p>下記のいずれかにより臨時に「南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会」を開催する場合</p> <ul style="list-style-type: none"> 監視領域内（下図黄枠部）でマグニチュード6.8以上^{※1}の地震^{※2}が発生 1カ所以上のひずみ計^{※3}での有意な変化と共に、他の複数の観測点でもそれに関係すると思われる変化が観測され、想定震源域内のプレート境界（下図赤枠部）で通常と異なるゆっくりすべりが発生している可能性がある場合など、ひずみ計で南海トラフ地震との関連性の検討が必要と認められる変化を観測 その他、想定震源域内のプレート境界の固着状態の変化を示す可能性のある現象が観測される等、南海トラフ地震との関連性の検討が必要と認められる現象を観測
巨大地震警戒	想定震源域内のプレート境界において、モーメントマグニチュード ^{※4} 8.0以上の地震が発生したと評価した場合
巨大地震注意	<ul style="list-style-type: none"> 監視領域内において、モーメントマグニチュード7.0以上の地震^{※2}が発生したと評価した場合（巨大地震警戒に該当する場合は除く） 想定震源域内のプレート境界面において、通常と異なるゆっくりすべりが発生したと評価した場合
調査終了	（巨大地震警戒）、（巨大地震注意）のいずれにも当てはまらない現象と評価した場合

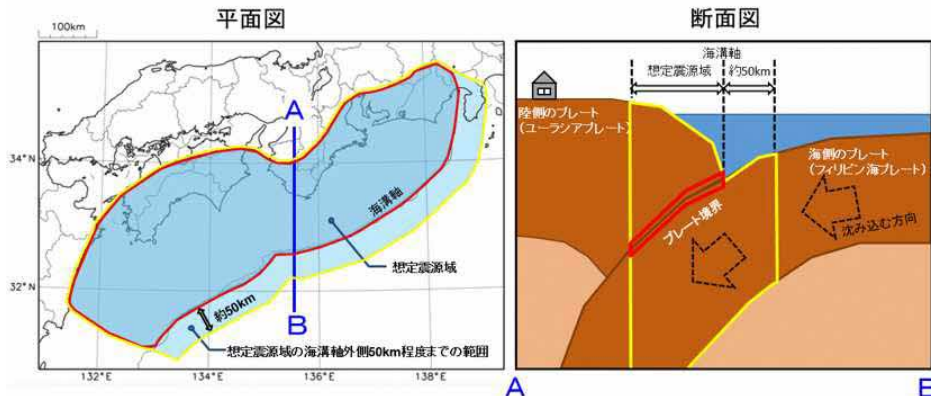
※1:モーメントマグニチュード7.0の地震をもれなく把握するために、マグニチュードの推定誤差を見込み、地震発生直後の速報的に求めた気象庁マグニチュードでM6.8以上の地震から調査を開始します。

※2:太平洋プレートの沈み込みに伴う震源が深い地震は除きます。

※3:当面、東海地域に設置されたひずみ計を使用します。

※4:断層のずれの規模(ずれ動いた部分の面積×ずれた量×岩石の硬さ)をもとにして計算したマグニチュードです。従来の地震波の最大振幅から求めるマグニチュードに比べて、巨大地震に対してもその規模を正しく表せる特徴を持っています。ただし、このマグニチュードを求めるには若干時間を要するため、気象庁が地震発生直後に発表する津波警報等や地震速報には、地震波の最大振幅から求められる気象庁マグニチュードを用いています。

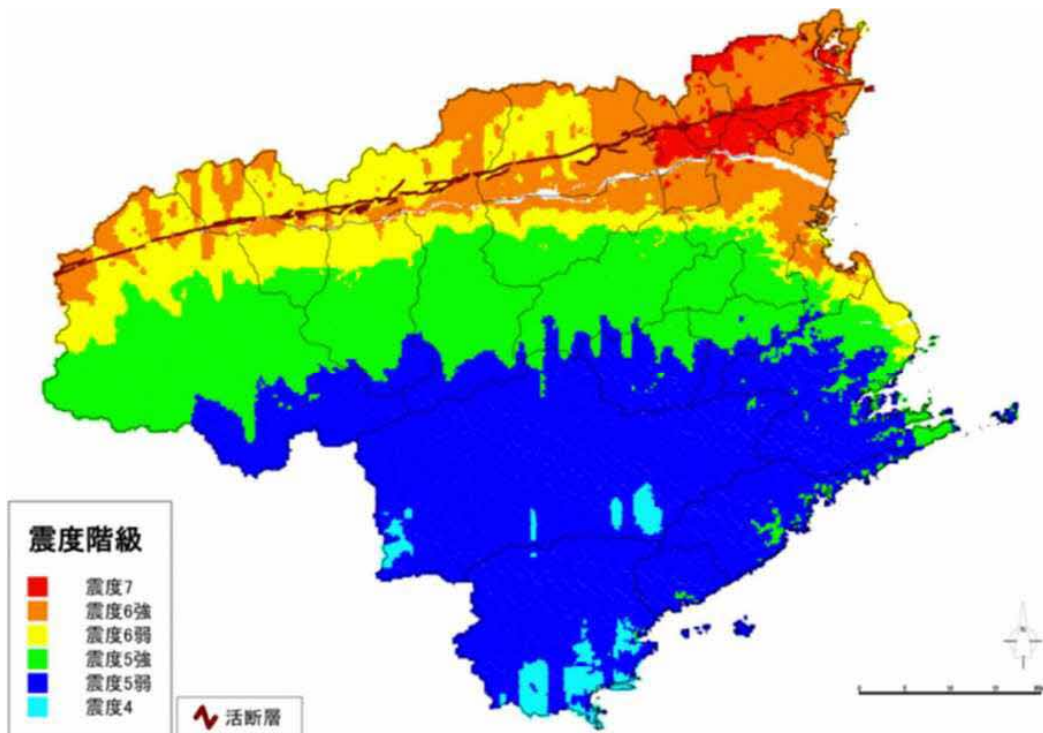
(資料参照：気象庁 南海トラフ地震に関連する情報の種類と発表条件)



(図の引用：気象庁 南海トラフ地震に関連する情報の種類と発表条件)

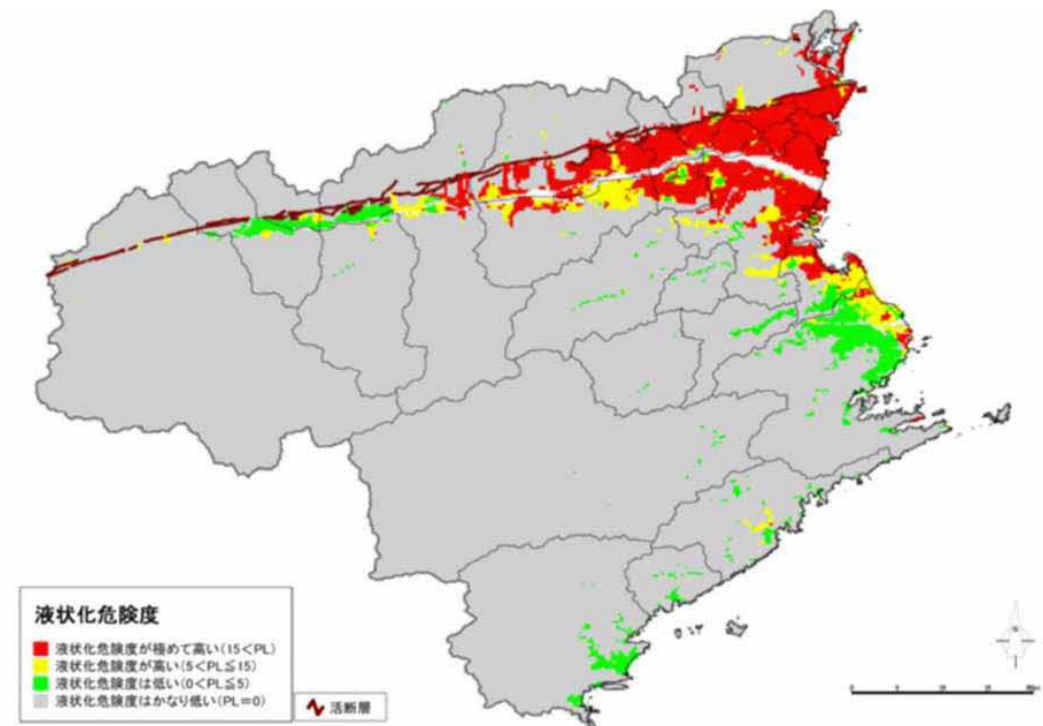
(2) 中央構造線・活断層地震

中央構造線・活断層地震について、徳島県の被害想定資料を示す。



図の出典：「徳島県中央構造線・活断層地震被害想定」（平成29年7月）

図8 中央構造線・活断層地震 被害想定 震度分布図



図の出典：「徳島県中央構造線・活断層地震被害想定」（平成29年7月）

図9 中央構造線・活断層地震 被害想定 液状化危険度分布図

表6 中央構造線・活断層地震被害想定（人的・物的・ライフライン等の被害）

建物全壊・焼失棟数（棟）

全建物数	揺れ	液状化	急傾斜地	火災			合計		
				冬深夜	夏12時	冬18時	冬深夜	夏12時	冬18時
84,397	13,500	200	50	4,900	4,900	11,900	18,600	18,600	25,600

建物半壊棟数（棟）

全建物数	揺れ	液状化	急傾斜地	火災	合計
84,397	17,300	5,200	90	-	22,600

死者数一覧（人）

揺れ（うち家具転倒）			急傾斜			火災			ブロック塀・自動販売機転倒等		
冬深夜	夏12時	冬18時	冬深夜	夏12時	冬18時	冬深夜	夏12時	冬18時	冬深夜	夏12時	冬18時
860 (70)	560 (50)	640 (50)	※	※	※	300	200	690	0	※	※
合計											
冬深夜	夏12時	冬18時									
1,160	770	1,340									

負傷者一覧（人）

揺れ（うち家具転倒）			急傾斜			火災			ブロック塀・自動販売機転倒等		
冬深夜	夏12時	冬18時	冬深夜	夏12時	冬18時	冬深夜	夏12時	冬18時	冬深夜	夏12時	冬18時
4,800 (1,300)	3,800 (950)	3,800 (920)	※	※	※	350	300	700	※	130	270
合計											
冬深夜	夏12時	冬18時									
5,200	4,200	4,700									

重傷者一覧（人）

揺れ（うち家具転倒）			急傾斜			火災			ブロック塀・自動販売機転倒等		
冬深夜	夏12時	冬18時	冬深夜	夏12時	冬18時	冬深夜	夏12時	冬18時	冬深夜	夏12時	冬18時
1200 (270)	790 (200)	840 (200)	※	※	※	100	80	200	※	50	90
合計											
冬深夜	夏12時	冬18時									
1,300	920	1,100									

ライフライン被害（上水道：冬18時）

給水人口 （人）	復旧対象 給水人口 （人）	直後		1日後		1週間後		1ヶ月後	
		断水率 （%）	断水人口 （人）	断水率 （%）	断水人口 （人）	断水率 （%）	断水人口 （人）	断水率 （%）	断水人口 （人）
253,400	217,600	79	172,700	49	105,700	30	65,300	4	9,100

ライフライン被害（下水道：冬18時）

処理人口 （人）	復旧対象 給水人口 （人）	直後		1日後		1週間後		1ヶ月後	
		支障率 （%）	支障人口 （人）	支障率 （%）	支障人口 （人）	支障率 （%）	支障人口 （人）	支障率 （%）	支障人口 （人）
78,000	67,000	71	47,600	71	47,600	8	5,700	0	0

注意：各表中の※は若干数を表す。

各数値は一の位又は十の位、百の位等で処理されており、合計や率が合わない場合もある。

ライフライン被害（電力：冬18時）

電灯軒数	復旧対象 電灯軒数	直 後		1日後	
		停電率 (%)	停電軒数	停電率 (%)	停電軒数
145,000	124,600	100	124,600	76	94,700

ライフライン被害（通信：冬18時）

回線数	復旧対象 回線数	直 後		1日後	
		不通率 (%)	不通 回線数	不通率 (%)	不通 回線数
61,800	53,100	100	53,100	76	40,400

ライフライン被害（都市ガス：冬18時）＜県合計＞

重要家数	復旧対象 重要家数	直後		1日後		1週間後		1ヶ月後	
		供給停止 率 (%)	供給停止 戸数	供給停止 率 (%)	供給停止 戸数	供給停止 率 (%)	供給停止 戸数	供給停止 率 (%)	供給停止 戸数
43,000	36,900	100	36,900	100	36,900	85	31,400	0	0

交通施設被害（道路施設）＜県合計＞

道路種別	延長 (k m)	被害箇所数	被害率 (箇所/k m)
全路線	15,000	1,100	0
うち高速道路・直轄国道	390	70	0
うち補助国道・県道・市町村道	14,600	1,000	0
緊急輸送道路	1,100	100	0

交通施設被害（鉄道施設）＜県合計＞

鉄道区分	路線	延長 (km)	被害箇所数	被害率 (箇所/k m)
四国旅客鉄道 (JR四国)	高德線	25	70	2.8
	鳴門線	8	20	2.8
	牟岐線	79	80	1.0
	徳島線	67	170	2.6
	土讃線	41	70	1.7
	計	222	410	1.9
阿佐海岸鉄道	阿佐東線	7	※	※
全体		229	420	1.8

交通施設被害（港湾）＜県合計＞

鉄道区分	岸壁			その他係留施設			防波堤 延長 (km)	防波堤 被災延長 (km)
	総 バース数	耐震 バース数	被害 バース数	総 バース数	耐震 バース数	被害 バース数		
重要港湾	56	4	10	99	0	20	5,510	1,700
地方港湾	22	0	※	108	1	30	7,760	4,300
全体	78	4	10	207	1	50	13,280	6,000

避難者数：冬18時（人）

人口	1日後			1週間後			1ヶ月後		
	避難所 生活者数	避難所外 生活者数	合計	避難所 生活者数	避難所外 生活者数	合計	避難所 生活者数	避難所外 生活者数	合計
264,548	52,900	35,200	88,100	50,700	50,700	101,300	28,400	66,400	94,800

・警報解除後当日における避難所生活者数の割合は、 $52,900 / 264,548 \times 100 \approx 20.0\%$ で、

避難所外生活者の割合は、 $35,200 / 264,548 \approx 13.3\%$ と設定される。

・帰宅困難者は15,500名～22,300名とされる。

注意：各表中の※は若干数を表す。

各数値は一の位又は十の位、百の位等で処理されており、合計や率が合わない場合もある。

要配慮者：冬18時（人）

避難所 生活者数 (1週間後)	避難所生活者（1週間後）のうちの要配慮者数（人）							
	65歳以上の 高齢単身者	5歳未満の 乳幼児	身体 障がい者	知的 障がい者	要介護認定者 (要支援者除く)	難病患者	妊産婦	外国人
50,700	2,090	1,960	2,030	400	1,760	360	450	220

入院需要：冬18時（人）

重傷者数	死者の 一割	要転院 患者数	合計
1,000	130	770	1,900

災害廃棄物：冬18時

重量換算（万ton）		
冬深夜	夏12時	冬18時
370	370	490

エレベーター閉じ込め

エレベーター数	閉じ込め可能性のある台数			
	安全装置作動	揺れによる停電	停電	合計
1,600	※	130	310	440

文化財＜県合計＞

全施設数	要因別被害想定結果	
	揺れ	火災
17	11	4

住機能

徳島市 全戸数	必要応急 仮設住宅戸数
111,600	16,600

孤立集落

孤立の可能性のある 集落数	孤立集落数		
	農村	漁村	計
2	0	0	0

注意：各表中の※は若干数を表す。

各数値は一の位又は十の位、百の位等で処理されており、合計や率が合わない場合もある。

(3) 大規模風水害（洪水）

国及び徳島県の想定する河川の洪水浸水想定区域図（想定最大規模）を次に示す。

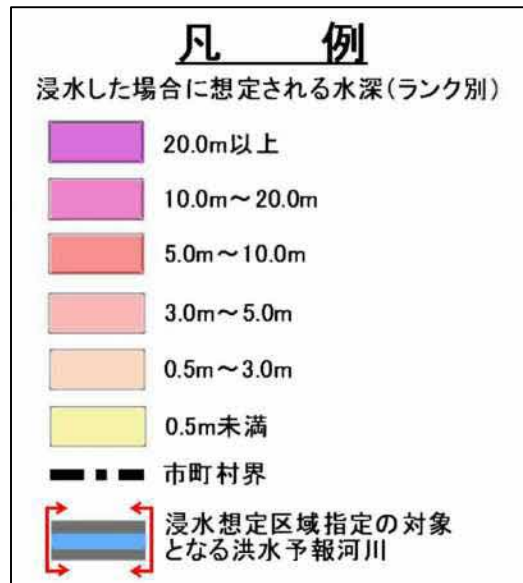
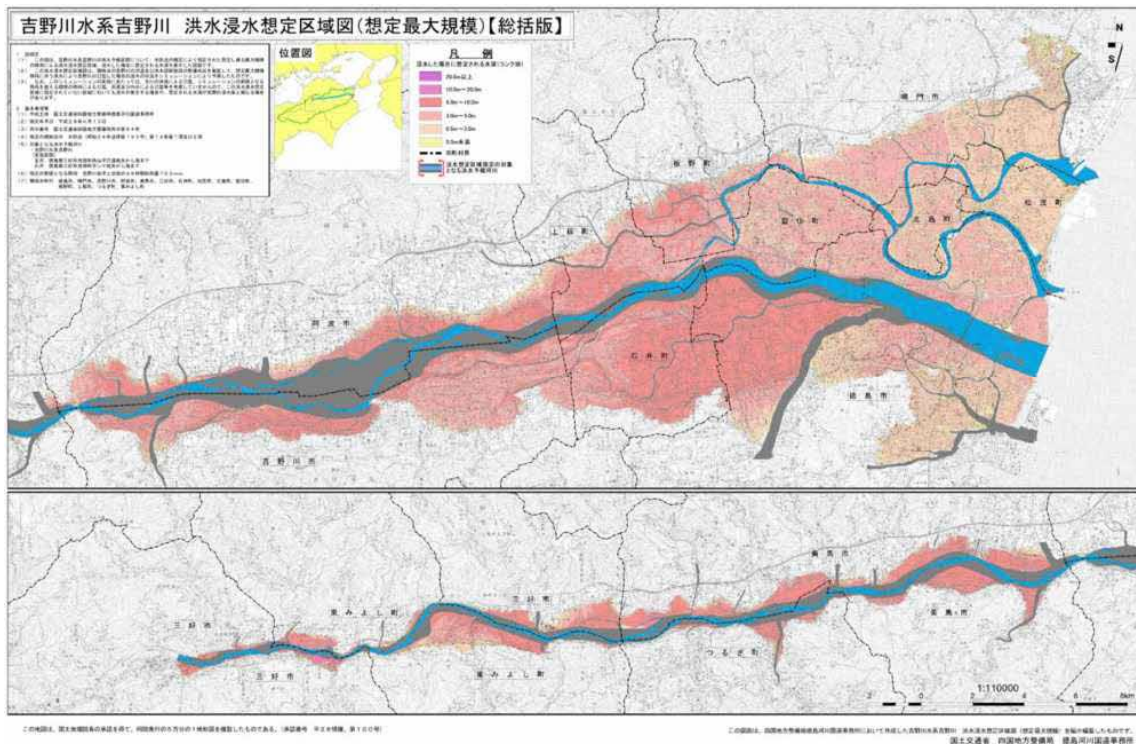
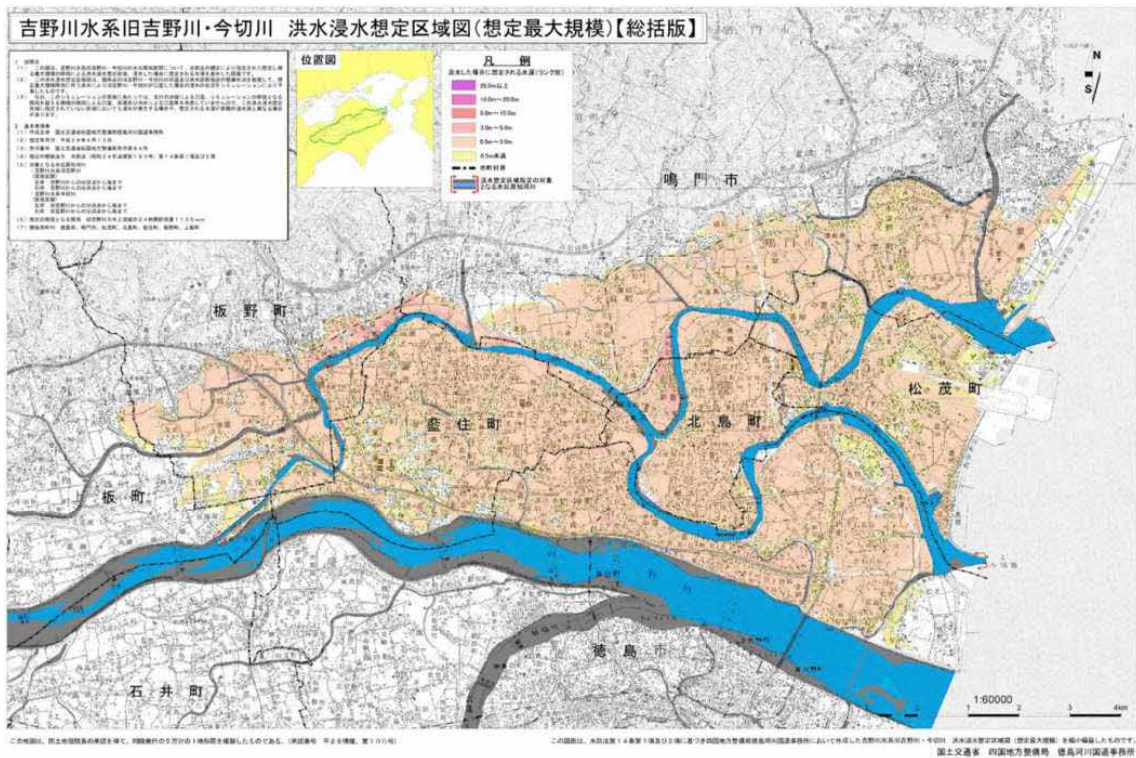


図 10 凡例



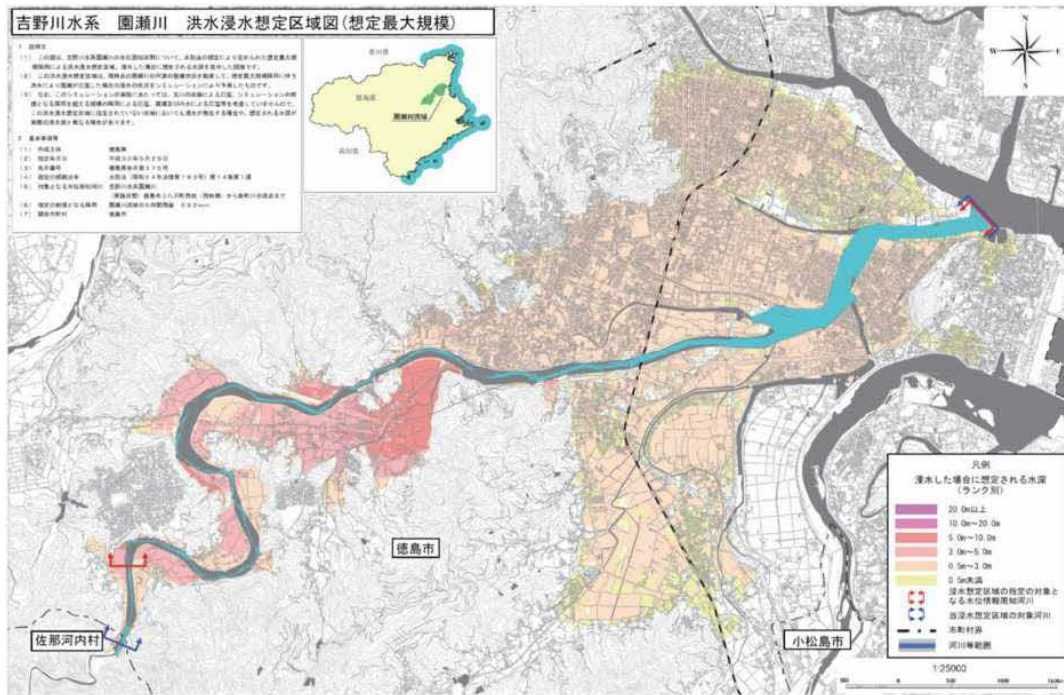
(図の出典：国土交通省 四国地方整備局 徳島河川国道事務所)

図 11 吉野川水系 吉野川



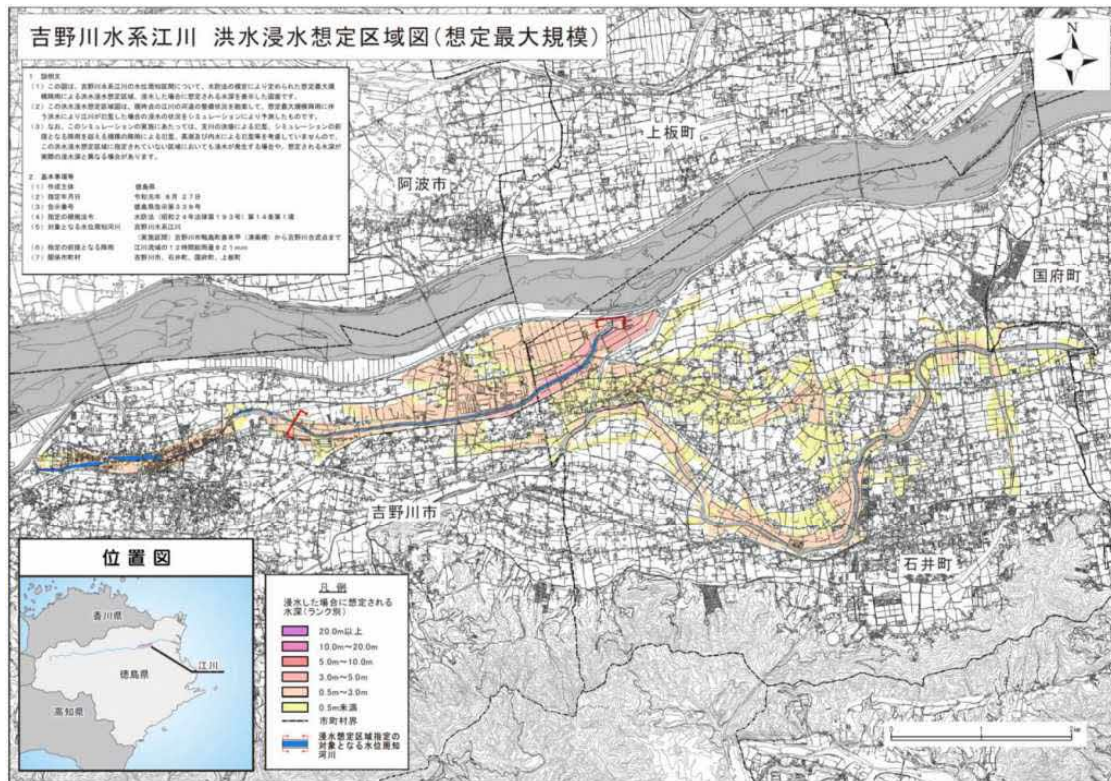
(図の出典：国土交通省 四国地方整備局 徳島河川国道事務所)

図 12 吉野川水系 旧吉野川・今切川



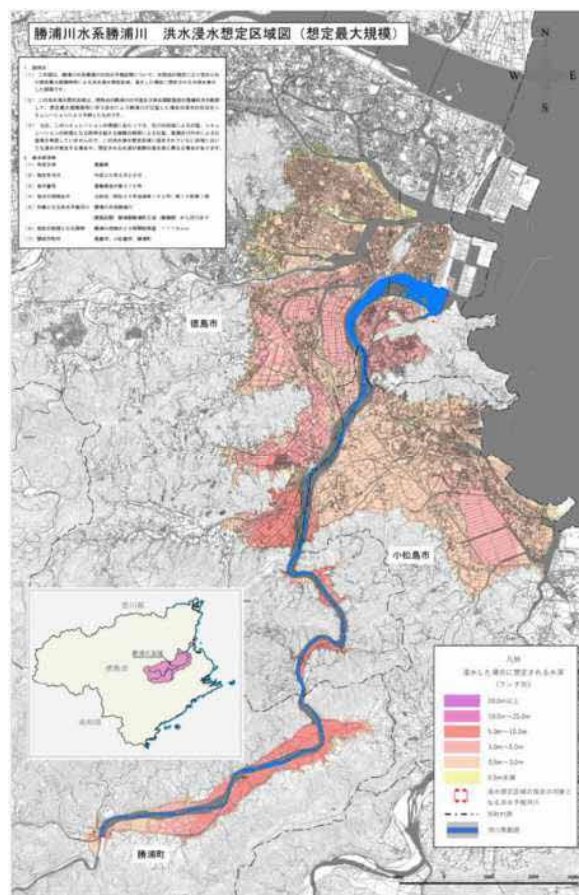
(図の出典：徳島県「吉野川水系 園瀬川 洪水浸水想定区域図(想定最大規模)」)

図 13 吉野川水系 園瀬川



(図の出典：徳島県「吉野川水系 江川 洪水浸水想定区域図(想定最大規模)」)

図 16 吉野川水系 江川



(図の出典：徳島県「勝浦川水系 勝浦川 洪水浸水想定区域図(想定最大規模)」)

図 17 勝浦川水系 勝浦川

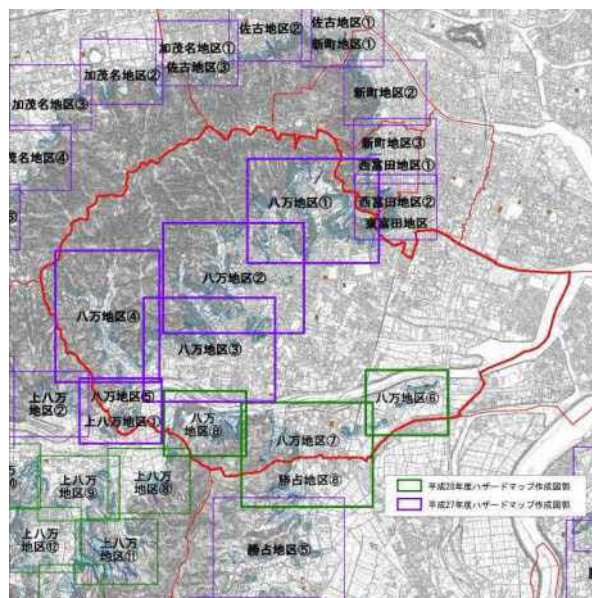
想定最大規模の浸水想定区域図以外の、各河川の各種浸水想定区域図（計画規模、浸水継続時間、家屋倒壊等氾濫想定区域（氾濫流、河岸浸食））も徳島県ホームページで公開されている。

（４）大規模土砂災害

徳島市では、台風や集中豪雨により、がけ崩れ（急傾斜の崩壊）や土石流などが発生する恐れがある場合に、住民が適切な避難行動がとれるよう土砂災害ハザードマップを作成している。

令和元年5月時点では、市内10地区で作成をしており、12地区での完成を目指す。

マップの区割りは右図で示すように、各地区でも細かく分けて作成されており、避難場所や避難経路が把握しやすい内容となっており、対象区域周辺に居住する住民や、本市ホームページでも公開されている。



（図の引用：徳島市ホームページより）

図 18 徳島市土砂災害ハザードマップの区割図

（５）大雪

大雪時の特別警報、警報、注意報の種類・概要と、それぞれの本市での発令状況（平成23年～平成30年）を以下に示す。

表 7 気象情報の種類

特別警報・警報・注意報の種類	概要
大雪特別警報	大雪が特に異常であるため重大な災害が発生するおそれ著しく大きいときに発表される。
大雪警報	大雪により重大な災害が発生するおそれがあると予想されたときに発表される。
大雪注意報	大雪により災害が発生するおそれがあると予想されたときに発表される。

表 8 徳島市の発令状況（平成23年以降）

種別	年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
		警報	0	0	0	0	0	0
注意報	大雪	36	29	31	36	24	23	16
	風雪	4	3	1	2	1	3	3

（資料参照：徳島地方気象台資料）